

## 沖ノ鳥島視察報告

期間：令和6年7月4日（木）～6日（土）

場所：沖ノ鳥島

視察議員：池田望議長、安藤副議長、稲垣勇議員、杉田一男議員、片股敬昌議員、  
清水朗一議員、平野悠介議員、宮城ジャイアン議員

随行者：櫻田事務局長

### 【報告】

報告者：杉田一男議員

念願の沖ノ鳥島視察会が実施されることになりました。国境離島小笠原村の行政区画であり日本の最南端に当たります。参加者はスタッフ併せて198名でした。

航海中に東海大学海洋学部教授の山田吉彦先生による「沖ノ鳥の重要性と活用法」の講演が2回行われました。小笠原から洋上約1,000kmの場所に有る沖ノ鳥島の役割は日本の経済水域の3分の1を占めているという重要な島であります。この小さな沖ノ鳥島がいかに貴重であるかを実感しました。

また「鯨類と海鳥のガイド」の講演もあり、航行中に出会ったクジラやイルカ、また12種類位見られたという海鳥等の紹介も行われました。夜は星空観察会も開かれ久しぶりに夜空を見ました。

東京都総務局行政部の御協力により沖ノ鳥島、南鳥島の国境離島に関するパネル展示もされました。日本の何処の島よりも行く事の難しい沖ノ鳥島に行く事が出来た事に関係者の皆様に感謝致します。

